

7 企 第 4 0 2 号

令和 7 年 8 月 29 日

長野市総合計画審議会

会長 高木 直樹 様

長野市長 荻原 健司

次期長野市総合計画の策定について（諮問）

長野市は、令和 8 年度を目標年度とする第五次長野市総合計画において「幸せ実感都市『ながの』～“オールながの”で未来を創造しよう～」を将来像に掲げ、その実現に向けたまちづくりを進めています。

一方で、今後は本格的な人口減少局面を迎えることが見込まれており、2060 年には本市の人口は約 27 万 4 千人まで減少するとの推計も示されています。

こうしたなか、令和 9 年度を初年度とする次期長野市総合計画は、人口減少下においても、市民一人ひとりがウェルビーイングを実感できる持続可能なまちづくりを目指し、まちの将来像、長期展望を市民と共有し、総合的かつ計画的な市政運営を行うための指針として、極めて重要な役割を担う計画となります。

新たなまちづくりの指針としての次期長野市総合計画の策定にあたり、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第 2 条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。